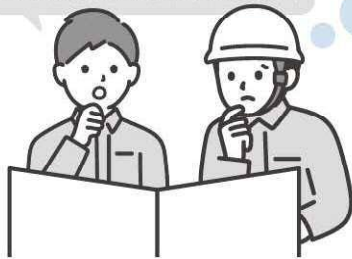


## Before

建築図面に修正が入ると…

この部分、こうなってませんか？



一度会社に戻って修正しないと…

現場

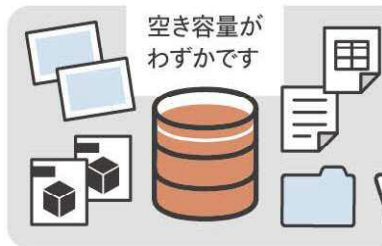


自社



帰社しないとデータを引き出すことができない

保管データを取捨選択する必要あり



空き容量が  
わずかです

消しても問題ない  
データはどれだろう

容量がもっと  
あればなあ



ハードディスクの容量を常に気にする必要があった

あのデータ  
どこに格納  
したっけ？

もしかして  
前のデータ  
消した…？



元データに  
上書き保存  
しちゃった！

データ紛失のリスクあり

## 事例に学ぶ

# IT導入

CASE 49

導入

ネットワーク接続型ストレージ

## NAS Synology

初期費用

具体的な導入費用は  
代理店へ直接  
お問い合わせください。

導入の決め手：

・ネットワーク環境が  
あれば、どこでも  
つながる！



## 株式会社 雑賀工務店

〒760-0074

高松市桜町2丁目8-10

TEL: 087-833-5544

FAX: 087-837-3565

URL: <http://saiga-k.co.jp>

ホームページ



施工管理と設計が業務の主要領域。長い歴史の中で培われてきた技術やノウハウを活かし、一般住宅の内装リフォーム、新築施工などを中心に行っています。

株式会社雑賀工務店は創業から4世代に渡って事業を続ける老舗建設業者。一般住宅及び店舗の設計や施工を中心に受注しています。

同社では数年前からNASと呼ばれる、ネットワーク接続型ストレージを導入。事業に関するあらゆるデータの保存やバックアップを行っています。NAS導入以前は外付けハードディスクへ工程管理表や建築図面、工事写真などを保存。特に図面や写真はデータサイズが大きく、数が膨大であったことから保管データは常に選別して保存するか、個々のパソコン内で管理していました。「当社の従業員たちは日中、施工管理等でほとんどの時間を外で過ごします。現場によつてはその場で図面修正等が入ることもしばしば…。その場合、会社と現場を往復して対応しますから、時間コストや燃料代が多くなかった。

## ネットワーク接続型ストレージ NAS Synology

現場から

- 各種データの保存、共有、バックアップ  
→複数のデジタルデバイスから同時アクセス可能
- データへのアクセス制限
- ランサムウェア対策 ●ビジネスチャット etc

既存の複合機と連携させると  
ファクスやスキャンデータの保存先に!

### 現場からストレージへアクセス可能に!



### 現場担当者の帰社後の業務減



## 効果を実感!

### 経営者コメント

私は地元経済団体をはじめ他業種の経営者の方々との意見交換や情報共有を通してITに関しての見聞を広げています。また、長年お世話になっている代理店の方々に相談することも。身近にアドバイスをしてくれる方々がいるからこそ、当社の業務により合致したツールを導入することができています。これからさまざまな人との交流から視野を広げていきたいです。



株式会社 雑賀工務店  
代表取締役

蒲生 亜季 さん

### 効果1 時間やガソリン代などコスト削減に

ネットにつながる環境があれば、現場や外出先から文書や画像などのデータを確認することができるように。現場と本社を行き来する時間や手間、ガソリン代などのコスト削減につながっている。

### 効果2 大容量のデータを安全に長期保存できるように

以前と比べて大容量。工程管理表をはじめ図面やファクス、画像など同社の企業データを全て保管することができている。データを選別する必要がなくなった。

### 効果3 データのリスクヘッジにつながっている

クラウド上にデータがバックアップ保存されているため、個々のパソコンでのデータ管理が不要に。また、災害等の有事の際、会社のデータを守り、事業中断を最小限に抑えられるよう備えることができている。

トラ吉は蒲生代表取締役が工事現場で保護した猫。来月10月で満2歳!絶賛人見知り発動中だけど、会社のマスコットとして従業員たちに癒しを与えています!



しまっていることが課題でした。ハードディスクの更新時期を迎えた際、代理店の方からNASを提案いただいて導入を決めました」と蒲生代表取締役。同社が導入したNASはデータ容量を気にすることなく図面や写真を保存することができています。また、現場からスマホ等を使ってデータが引き出せるようになったことで業務効率アップへとつながっています。

蒲生代表取締役は経営と現場作業の二足の草鞋を履いて会社を支えています。経営者が現場の実状を把握しているからこそ、ITツール導入にも意欲的。直近では現場からスマホを使って打刻できる勤怠管理システムを導入しました。「当社は少数精鋭ですから、各人の力が最大限に引き出せるようICTやデジタル機器をうまく活用していく必要があります。ただ、やみくもにツールを導入するのではなく、従業員たちの要望や考えをしっかりと聞いた上で検討していきたいと考えています」とIT導入についての今後の展望を語ってくれました。